

# 放射線科のビジネスチャンス～独立した放射線科医師

代表取締役 石川浩太

## 事業内容

医用画像保存配信システムの研究・開発・販売。愛知県に拠点を置き、近県の医療機関に自社 PACS を販売。近年はフィルムレス運用も手がける。大手医療機器メーカーに Web DICOM ビューア ソフトウェアを OEM 供給。

## 得意分野

マンマシンインタフェースの重要性やモニタ上での画像診断の可能性につきいち早く着眼し、多くのノウハウを有する。画像診断医としての経験を生かし、読影プロセスにおける医師の思考過程を深く理解でき、自社製品の研究や開発に役立てることができる。

## 独立にあたって揃えた設備と、そのこだわりのポイント

Mac と PC 本体、開発用ソフトウェアとささやかなオフィス。隠れ家的な居心地のよいオフィス環境を実現することが夢であるが未完。

## 独立のきっかけ

最も大きな動機付けは「常に新しいことに挑みたい」という自己実現欲求にあったと思う。他方、多くの関係者から共感や励ましのお言葉を頂き、本事業が多くの人に求められていることを知り、使命感を高めていったことも大きい。思い起こせば、事業の実現性などはあまり考慮せず、勢いだけで起業を決めていた。

## 一番苦労したこと

独立当初の私は無知であったことも手伝って、行動が大胆であった。2001 年 10 月、名古屋第二赤十字病院退職から約一ヶ月、同時多発テロの影響を色濃く残すアメリカに渡った。そして、事業を立ち上げる準備のため、前年の RSNA InfoRAD にて知り合ったサイエンスアンドテクノロジーマーケットマネージャーをアップルコンピュータ本社に訪ねた。アップルコンピュータ本社は、シリコンバレーの一角、カリフォルニア州クパティーノ市にある。3-4階建ての社屋が、10棟程、中庭を取り囲むように楕円状に立ち並んでおり、緑がかかった窓が印象的である（図1、図2）。

私は、正面のガラス張りの建物の左側にある会議室で、放射線医の求めるビューアシステムの説明とそれを具現化したソフトウェアのデモを行った。プレゼンテーションにはユーザエクスペリエンステクノロジー、MacOSX イメージングテクノロジーやデジタルメディアグループなどのマネージャーが10名程参加していたが、彼らが一様に「医師の思考過程に連動した操作性を実現している」ことに対して、衝撃を受けているように見受けられた。そして、彼らは本当に親身になりいろいろな可能性につきアドバイスをし、提携先を探してくれた。彼らの好意的な対応には今も強く印象に残っている。残念ながら、当時の私は、次の展開に関し全くビジョンを持っておらず、早晩アメリ

力を去ることとなった。今にしてみれば、かなり無謀な行動であったのだと思う。ビジネス展開の流れを綿密に調査しそのために必要なリソースをある程度確保した上で渡米していれば、違った可能性があったのかもしれない。残念ながら海外への進出は未だに実現していない。

ビジネスを成立させるための条件として「人、金、物、情報」という4つの要因がある。この4項目のバランスを上手にとることが経営者に求められる訳であるが、特に「人」の面では未だに苦労が絶えない。周知の通り、自動車産業が盛んな当地において、優秀な人を確保することは極めて困難なことである。高度に先進的なソフトウェアの開発を持続させるには、すぐれた能力を持つ人を有することが必須であり、会社の生命線を大きく左右する（図3）。社員に対し働きがいのある魅力的な環境を提供できるように、会社の進むべき将来像や目標を掲げ、社内プロジェクトの達成のため実効性のあるルール作りを押し進めないといけないのであるが、なかなか難しい。もう一点、経営判断が必要な場合において、いつも迷いと試行錯誤を繰り返している。判断基準として一定の法則があるのかも知れないが、経営者としての教育を受けたことや経験がないため、一つ一つの決断が苦労の連続である。



図1 アップルコンピュータ本社  
ピュッフェでの昼食の様子



図2 アップルコンピュータ本社  
中庭から社屋を望む

## 独立してよかったと思ったこと

いろいろな分野の人と会えたことが、よい刺激になっている。そして、医療従事者として仕事をしていたときには知り得なかったことを多く学んだ。例えば、ビジネスの辛辣な競争の世界でしのぎを削っている人々のしたたかさは、私の想像を遥かに超えていた。医療従事者がそれを取り巻く関係者からどのように見られているか、立場の代わることで初めて気付かされたことも多い。経営者の立場を経験していることが、物事を多面的にとらえるよい訓練になっており、熾烈な競争の世界に身を投じることでより直接的な刺激を体験できていると思う。立ち位置の変化が、ささやかではあるが考え方の変化をもたらし、独立前よりも柔軟に対応できている強みを感じられる時がある。

## 若い人へのアドバイス

誰しも人生は一度きりであり、リスクを考えて躊躇するより、自分が考え及ぶ最大限の自由度で、何事にもチャレンジするべきである。「あの時、一步踏み出せばよかった」と後悔することが、人生における最後で最大のリスクになり得ることを、私は常に自問するように心がけている。



図3 夢見堂バーベキューパーティー

知多半島にある養豚場「BRIO」にて食べ放題!! 飲み放題!!

### <独立までの歴史>

#### ■ 1994年 名古屋市立大学医学部卒業、名古屋市立大学放射線医学教室研修医

ニューロインターベンションに興味を持ち、脳神経外科医を目指していたが、放射線科医の技術レベルの高さに強く惹き付けられ放射線科の門を叩く。先輩の先生から Mac を買うようにというお達しで、PowerBook Duo 280C を購入。

#### ■ 1996年 成田記念病院勤務

シリコングラフィックス社ワークステーション上で稼働する画像ビューアを使用。モニタ上での読影を試行すると同時に、Symantec 社 ThinkC を用い Mac 用の医用画像ビューアを開発。

#### ■ 1998年 県立愛知病院勤務

専ら臨床に従事し、肝臓リザーバー動注を中心とする腹部 IVR を行う。FileMaker Pro を用いた放射線診断レポートシステムの構築を行う。

#### ■ 1999年 名古屋第二赤十字病院勤務

Metrowerks 社 CodeWarrior を用い Mac 用の DICOM 通信およびビューアソフトウェアを開発。大手医用画像システムベンダに OEM 供給開始。

#### ■ 2001年 名古屋第二赤十字病院退職、渡米

米国アップルコンピュータ社にて DICOM ビューアのデモを行う。日本国内の販売元として大手コンピュータ機器ベンダが決定。DICOM 画像保存システムおよび ActiveX(C++ ATL) を用いた Web DICOM ビューアソフトウェアを開発。

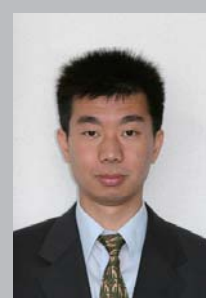
#### ■ 2002年 名古屋大学放射線医学教室客員研究員、有限会社夢見堂設立

大手医療機器メーカーに Web DICOM ビューアソフトウェアの OEM 供給開始。

#### ■ 2004年 愛知県中小企業振興公社 事業可能生評価 A 評価

### <プロフィール>

昭和44年8月23日  
愛知県安城市生まれ。  
名古屋市立大学を卒業後、放射線科医として愛知県内の病院に勤務。その後、起業し現在に至る。  
趣味は車、温泉巡り、スキーなど。



有限会社 夢見堂  
代表取締役 石川浩太